

栄養規格表と給餌プログラム

繁殖 ①

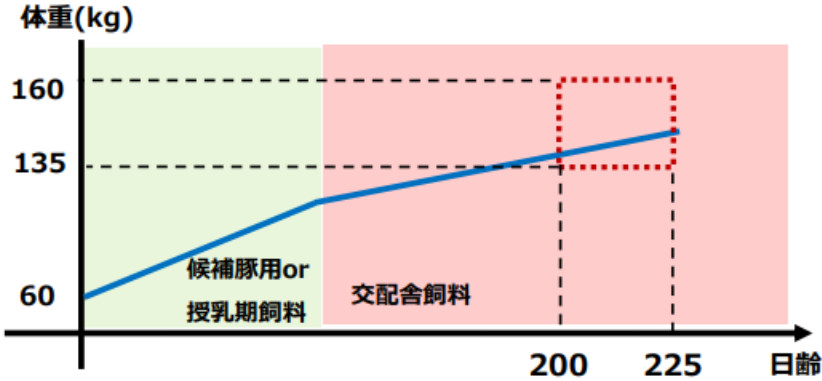
ステージ	候補豚◎	妊娠用	授乳用
体重 kg	60-90	-	-
TDN % ※1	74	74	79.3
ME kcal/kg	3,126	3,126	3,350
総リジン % ※2	0.90	0.65	1.11
SIDリジン %	0.80	0.58	1.00
総リジン/ME g/Mcal ※2	2.89	2.09	3.35
SIDリジン/ME g/Mcal	2.57	1.86	2.99
SIDリジン/NE g/Mcal	3.46	2.51	3.98
SIDリジンg/日	-	-	59.5
Ca/P 比率	1.25-1.50	1.50	1.50
STTD P/ ME (g/Mcal)	1.04	1.36	1.30
有効P/ME (g/Mcal)	0.89	1.29	1.19
ナトリウム %	0.25	0.24	0.24
SIDアミノ酸比率			
リジン	100	100	100
メチオニン+シスチン	58	70	53
トレオニン	65	76	64
トリプトファン	18	19	19
バリン	68	71	64
イソロイシン	56	58	56
ロイシン	101	92	114
ヒスチジン	34	35	40
フェニルアラニン+チロシン	95	96	113

青字は、調整例です。実際はエネルギーとの比率 (SIDリジン/ME 等)によって調整してください。

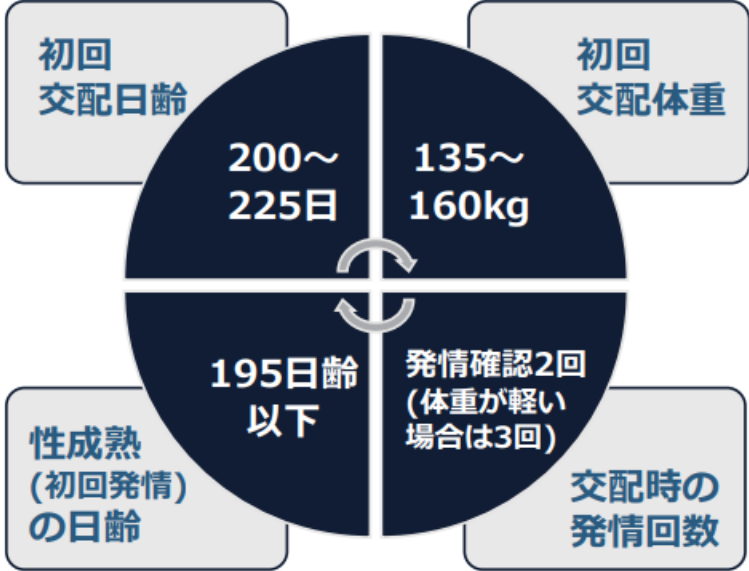
※1 TDN値は、ME値から推測したものです。

※2 総リジン値は、使用する飼料原料によって変化します。

候補豚育成の目安



農場の環境や疾病状況によって发育は異なります。
飼料の切替え時期やエネルギーレベルで調整可能です。



繁殖②

妊娠期間の給餌管理：経産母豚のボディコンディションはキャリパーを用いて測定してください。

- ※1 初産豚の妊娠期間中キャリパーは使用しないでください。初産豚を妊娠期間中にキャリパーで測定すると、「過肥」と誤判定される可能性があります。
- ※2 候補豚の平均交配体重が160kg以上の場合、6.65 Mcal ME/日 または 4.95 Mcal NE/日（おおよそ1日当たりの妊娠期給餌量が250g増加）の給餌としてください。
→交配時の体重が160kgを超える候補豚は2産以降の体重が重くなり、維持レベルが増加するため
- ※3 妊娠期において母豚のボディコンディションを調整することはとても難しく、ボディコンディションを下げるにより生じるリスクは過肥の状態での分娩を行うリスクより高いため。
 - ・ 給餌量はボディコンディションと飼料エネルギーレベルによって調整してください。
給餌量算出例: 3 Mcal ME/kgの飼料の場合: $5.9 \text{ Mcal ME/日} \div 3 \text{ Mcal ME/kg} \approx 2 \text{ kg/日}$
 - ・ ベースラインとなる給餌レベルは、飼料形状、ヘルスステータス、季節、飼養方法、候補豚平均交配体重等をコンスタントにモニタリングし、調整してください。

栄養規格表と給餌プログラム

離乳中期まで

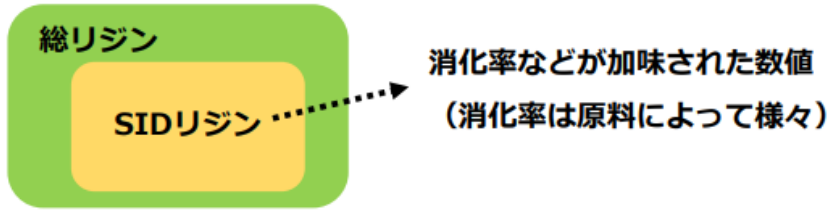
ステージ	離乳1	離乳2
体重 kg	5.5-7.5	7.5-11.5
TDN % ※1	80.5	80.5
ME kcal/kg	3,395	3,395
総リジン % ※2	1.64	1.60
SIDリジン %	1.46	1.42
Ca	0.65	0.65
STTD P %	0.50	0.45
有効P %	0.45	0.40
総リジン/ME g/Mcal ※2	4.83	4.70
SIDリジン/ME g/Mcal	4.30	4.18
SIDリジン/NE g/Mcal	5.81	5.65
ナトリウム %	0.40	0.35
乳糖 %	15	7.5
SIDアミノ酸比率		
リジン	100	100
メチオニン+シスチン	58	58
トレオニン	65	65
トリプトファン	20	19
バリン	67	67
イソロイシン	55	55
ロイシン	100	100
ヒスチジン	32	32
フェニルアラニン+チロシン	92	92

青字は、調整例です。実際はエネルギーとの比率 (SIDリジン/ME 等)によって調整してください。

※1 TDN値は、ME値から推測したものです。
※2 総リジン値は、使用する飼料原料によって変化します。

◆ SIDリジンとは

➢ 標準化回腸可消化リジン。小腸(回腸)末端までに消化されたリジン。



※この資料の総リジンはとうもろこし、大豆粕使用を想定し、
SIDリジン÷0.89程度として算出

◆ エネルギーとの比率

➢ SIDリジン/ME (g/Mcal) 、SIDリジン/NE (g/Mcal) など。
必要なアミノ酸量はエネルギーとの比率が基準となっています。

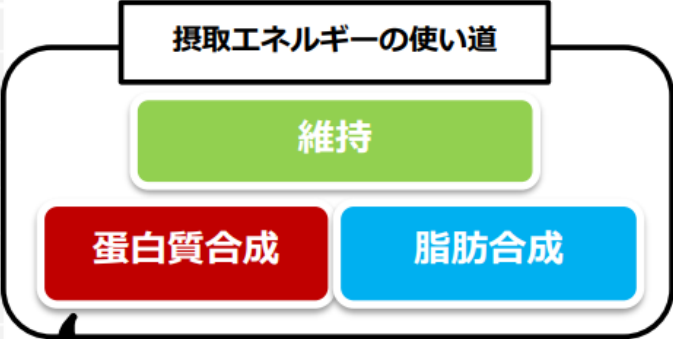
(算出例)

SIDリジン/ME が 3.8 (g/Mcal) の飼料をつくる場合、
エネルギーレベルを ME=3.4 Mcal /kgと設定すれば
必要なSIDリジン量は
 $3.8 \times 3.4 = 12.92 \text{ (g/kg)} = 1.29 \%$

栄養規格表と給餌プログラム

離乳中後期～肥育まで

項目	離乳3	離乳4	育成	肥育前期	肥育後期
体重 kg ※1	11.5-23	23-35	35-50	50-70	70-120
TDN % ※2	80.5	78	78	78	78
ME kcal/kg	3,395	3,300	3,300	3,300	3,300
総リジン % ※3	1.48	1.32	1.19	1.04	0.84
SIDリジン %	1.32	1.17	1.06	0.93	0.75
STTD P %	0.45	0.40	0.37	0.33	0.28
有効P %	0.39	0.35	0.32	0.29	0.24
総リジン/ME g/Mcal ※3	4.37	3.99	3.60	3.16	2.55
SIDリジン/ME g/Mcal	3.89	3.55	3.20	2.81	2.27
SIDリジン/NE g/Mcal	5.31	4.84	4.35	3.81	3.02
Ca/P 比率	1.25-1.50	1.25-1.50	1.25-1.50	1.25-1.50	1.25-1.50
STTD P/ME (g/Mcal)	1.32	1.22	1.12	1.01	0.84
有効P /ME (g/Mcal)	1.14	1.05	0.96	0.87	0.72
ナトリウム %	0.28	0.25	0.25	0.25	0.25
SIDアミノ酸比率					
リジン	100	100	100	100	100
メチオニン+シスチン	58	58	58	58	58
トレオニン	65	65	65	65	66
トリプトファン	19	18	18	18	18
バリン	68	68	68	68	68
イソロイシン	56	56	56	56	56
ロイシン	101	101	101	101	102
ヒスチジン	34	34	34	34	34
フェニルアラニン+チロシン	94	94	94	94	96



左記アミノ酸量は蛋白質（赤肉）の合成を最大限引き出します

日本の枝肉取引規格では脂肪の量も重要です

- ◆ 目標枝重、背脂肪を調整するためにできること
- ✓ 餌や水が制限なく食べられる環境整備や疾病管理
- ✓ 離乳中～後期はしっかり増体できるアミノ酸量確保
- ✓ 肥育以降はリジンほかアミノ酸の制限やカロリーUP
- ✓ 充分な仕上げ給餌期間（切り替えタイミング）

青字は、調整例です。実際はエネルギーとの比率 (SIDリジン/ME 等)によって調整してください。

※1 日本における一般的な体重ステージごとに合わせた推定値であり、PIC社のマニュアル記載値とは異なります。

※2 TDN値は、ME値から推測したものです。

※3 総リジン値は、使用する飼料原料によって変化します。